



## 「社員思いの職場」 なって 職場から出会いを 応援しタイ！

「職場の若いものに良い人を見つけてあげたいなあ！」

そんな世話やきな上司・先輩社員さんの活動を市が手伝います！ 社員の出会いを応援してくれる職場を募集し、業種の枠を超えて交流する場を作ります。

「出会い」はライフステージの第一歩！ その「出会い」を応援して、若いもんが元気な職場を作りませんか。

※募集開始は6月以降予定



## ハートリーフ作戦のシンボルマーク

その名も『**やきたい！マーク**』だ!!

「世話をやきたい」  
「役に立ちたい」  
「応援したい」



やりましょう！  
今後、このたいマークが  
あちこちに出没しますヨ！

お世話をやきたい。

# ワードは やきです😊



## 「SNS」でそれとな〜く 出会いのきっかけを作りタイ！

「仕事と家との往復の毎日…」

「同世代って、どこに集まっているの？」

そんな若者に、自然な出会いのきっかけを届けるため、若者が集い交流する情報をSNSで発信します。情報を見て、実際に出掛けてみて、知り合って…。恋愛のきっかけって、実はそこらじゅうにあるのかもしれない！

※SNSでの情報配信は夏以降開始予定



## 小さな世話やきで結ばれたカップル紹介

港地区で農業を営む<sup>とめだゆきひろ</sup>留田幸大さんと、明石市出身の<sup>あきこ</sup>晶子さんは、昨年9月に市が開催した婚活イベントがきっかけで12月に結婚しました。そんな新婚ほやほやの夫妻に話を伺いました。

### 一緒に農業しませんか

晶子さんが婚活イベントに参加したのは「姉が渡してくれた新聞の募集記事の切り抜き」がきっかけ。お互い「もっと知り合いたいな」と思い、後日、竹田城跡や明石市内でデートをしました。

プロポーズは、2回目のデートで幸大さんがふと問い掛けた「一緒に農業しませんか」という言葉。すぐに「はい」と答えた晶子さんに、当の幸大さんが驚いたといいます。そして12月にはスピード入籍。お姉さんの「小さな世話やき」が

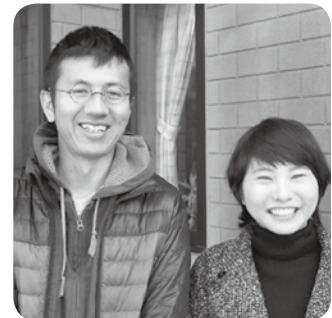
結んでくれた縁だと、2人は感謝しています。

これからの暮らしについて晶子さんは「幸大さんだけでなく地区の人

も気に掛けてくれて、豊岡の生活にも慣れてきました。これから、夫婦のことも地域のことも、もっと知り合いつながりを深めていきたいです」と話していました。

最後に2人に「幸せですか？」と聞くと、はにかみながらも「はい」と笑顔をくれました。

出会いはもちろんのこと、地域を含む「小さな世話やき」が、夫婦の幸せを育てています。



「幸せですか？」の質問に「はい」と笑顔で答える留田夫妻

# ハートリーフ 作戦が 始動します!

人生のパートナーに出会い、家族を持つことはとってもステキなこと。  
まちを挙げて応援したいですね。  
市はいろいろな形で「出会い」の仕組みづくりを始めることにしました。  
その仕組みを動かす原動力は、地域の皆さんの『小さな世話やき』です。

《問合せ》ハートリーフ戦略室  
☎21-9100 FAX24-4567  
メールheartreef@city.toyooka.lg.jp



## 「婚活イベント」で 出合いを演出しタイ!

「豊岡の若者の出会うチャンスを増やしたい!」

そんな団体の世話やき活動を、市は補助金で手伝います! 豊岡は、県内でも婚活イベント開催数がトップクラス! 地元の若者を元気づけたい団体を待ってます!

※「婚活イベント主催団体」への補助内容  
飲食費以外の経費を100%補助。  
上限10万円



## 「縁むすびさん」になって 良い縁を取り持ちタイ!

「良い人だで、ちょっと会ってみれへん?」  
この世話やきの一言が、カップル誕生につながります! 市民からボランティア仲人を募集し、セミナー受講後に登録。成婚に導いた「縁むすびさん」には報奨金(1組3万円)があります!

※申込みの詳細は31ページ



# キー 世話



市民から募集した、心温まる「なれそめエピソード」を紹介します。

ペンネーム Mikaさん(女性)  
結婚1年目

### カニと女将さんが取り持つ縁

出会いのきっかけは「カニ」でした。  
毎年家族でカニ旅行をしている宿の女将さんから「いい人がある! あなたにピッタリやと思う!」と言われ、メールアドレスを付せんに書いて渡しました。女将さん経由で彼の元に届き、メールのやりとりが始まりました。  
初めてのデートはスノボナイターです。私が大好きなスノーボード!! 毎週のように行っていて、それに合わせて「やってみたい」という彼が来たという感じでした。振り返れば失礼な話ですが、その日はあまりにいい雪質で、私は初心者<sup>おかみ</sup>の彼をそっちのけで滑ってしまいました。そ

れでも「また行こう」と言ってくれた彼に「いい人やな」という印象を持ちました。

サイクリングをしたり、夏には彼が好きなカヌーをしたりと会っていくうちに、お互い自然に触れるのが好きなことや「楽しい」「やってみたい」と思えることが同じだったり、彼とは感覚が似ているなと思い、付き合うようになりました。

結婚を決めた理由は、彼といったらこの先もずっと、自分が自分らしくいられる気がしたからです。友人からは「友達夫婦やな」と言われてしまうほど価値観も似ています。その分、頑固なところも同じでよくケンカをしてしまうのですが「次の日には忘れよう」というのもお互いの約束です。

海が好きな彼、山が好きな私。ご縁でつながったのも、海と山と、そしてカニのある豊岡のおかげです。

